

ありまふじ里山だより

Vol.19

『ありまふじ里山だより』では、棚田里山エリアの自然の様子や里山保全に向けた取り組みについてご紹介します。Vol.19は新たな伐採地の様子ととんど焼きの様子についてお届けします。



新たな伐採地

1月上旬、棚田里山エリアでは新たに伐採がおこなわれました。昨年伐採した低林管理実験区と棚田の間にある斜面地。ここにはナラ枯れの大木があり、危険な状態でした。

伐採したおかげで、園路からも低林管理実験区の様子が見やすくなりました。



小正月のとんど焼き

連日の冷え込みにより、福島大池はすっかり凍結してしまいました。カモたちは、凍結していないわずかな場所を求めて、身を寄せ合うように集まっています。

この日、かやぶき民家の横では地域の人も集まり、とんど焼きがおこなわれました。竹や松で組まれたやぐらに、参加者が持ち寄った正月飾りが添えられ色鮮やかに。火を入れると、やがて炎に包まれ灰が天高く昇りました。

1年の災いを払い、豊作や無病息災を願う小正月の年中行事。各地でとんど焼きが減るなか、有馬富士公園では大切な伝統文化をこれからも継承していきます。

